



F-REIの最近の動き (2023年12月～)

福島国際研究教育機構

F-REIのWebサイトに掲載されている「F-REIの最近の動き
(2023年11月～)」から12月分のみ抜粋しております。
詳細はF-REIのWebサイトをご覧ください。
(<http://www.f-rei.go.jp/>)

F-REI設立後の出来事（11月以降）

11月6日	市町村座談会の開催（飯舘村）	2
11月7日	第13回F-REIトップセミナーの開催（東日本国際大学）	3
11月15日	出前授業を実施（早稲田大学）	4
11月17日	市町村座談会の開催（楢葉町）	5
11月21日	教職員への講演会の実施（福島工業高等専門学校）	6
11月24日	F-REI説明会の実施（会津大学）	7
11月24日	第14回F-REIトップセミナーの開催（福島大学）	8
11月26日～12月1日	国際アドバイザーとの意見交換を実施	9
12月1日	第15回F-REIトップセミナーの開催（磐城高校）	10
12月4日	市町村座談会の開催（大熊町）	11
12月7日	第16回F-REIトップセミナーの開催（原町高校）	12
12月19日	市町村座談会の開催（相馬市）	13
12月26日	F-REI説明会の実施（県北・相双地区）	14

令和5年11月26日（日）～12月1日（金） 国際アドバイザーとの意見交換を実施

11月26日から12月1日にかけて、山崎理事長は欧州に出張し、F-REI国際アドバイザー4名のうち欧州に拠点を置く3名（フィオナ・レイモン博士（英国）、ライムント・ノイゲバウアー博士（ドイツ）、スヴァンテ・リンドクヴィスト博士（スウェーデン））をそれぞれ訪問しました。

山崎理事長から各国際アドバイザーに対しF-REIの事業を詳細に説明し、理解を深めていただくとともに、F-REIを国際的な研究拠点にするための方途等について意見交換を実施しました。また、山崎理事長から各国際アドバイザーに、今後の継続的な協力をお願いしました。

F-REIは引き続き国際アドバイザーから適切な助言を得つつ、国際化に向けた取り組みを進めてまいります。



令和5年12月1日（金） 第15回F-REIトップセミナーの開催（磐城高校）

12月1日、第15回のトップセミナーを磐城高校で開催しました。

講師は監事の森下信が務め、演題を「機械工学～医工学 最先端研究」とし、普通科2年生約280名を対象に行いました。

森下監事は、人工知能や医工学などの最先端研究について紹介し、「皆さんが貢献できる分野は数多くある。いろいろな分野に興味を持ってください。」と生徒へ話していました。講演終了後には活発な質疑応答が行われ、受講された生徒にとって自らの将来像を考えるきっかけになりました。



令和5年12月4日（月） 市町村座談会の開催（大熊町）

12月4日、第12回目となる市町村座談会を大熊町で実施いたしました。

座談会に先立ち、大熊インキュベーションセンター、学び舎 ゆめの森を訪問し視察及び意見交換を行ったほか、座談会では、地域で活躍されている方々、立地企業の方々、大熊町に関係する大学の方々にご参加いただき、多くのご意見をいただきました。



令和5年12月7日（木） 第16回F-REIトップセミナーの開催（原町高校）

12月7日、第16回のトップセミナーを原町高校で開催しました。

講師は執行役の大和田祐二が務め、演題を「私の医学研究とF-REI」とし、普通科2年生約140名を対象に行いました。

大和田執行役は、「医学の進歩は研究とイノベーションによって生まれる」「将来、福島あるいは世界を担う人材になっていただきたい」と話され、受講された生徒にとって今後の進路を考えるきっかけになりました。



令和5年12月19日（火） 市町村座談会の開催（相馬市）

12月19日、第13回目となる市町村座談会を相馬市で実施いたしました。

座談会に先立ち、そうまIHIグリーンエネルギーセンターとアグリ・コア株式会社を訪問し、視察及び意見交換を行ったほか、座談会では、地域で活躍されている方々にご参加いただき、多くのご意見をいただきました。



令和5年12月26日（火）

県北・相双地区の自然科学系部活動の高校生へのF-REI説明会の実施

12月26日、県北・相双地区の高校の自然科学系部活動部員約20名を対象としたF-REI説明会（会場：双葉町産業交流センター）を開催しました。

今回は、福島イノベーション・コースト構想推進機構様の協力の下、福島県高等学校文化連盟自然科学専門部県北・相双支部生徒研修会の一部として実施したものととなります。

大塚人材育成推進課長が、F-REIの概要や将来の展望、高校生に期待することなどを説明しました。



世界に冠たる 「創造的復興の中核拠点」へ